

## テーマ ねがい

しょめい	ちょしゃ	しゅつぱんしゃ	せいきゆうきごう	ないよう
みっつのねがいごと	マーゴット・ツエマック／文・絵 小風 さち／訳	岩波書店	エホン/ツ	むかし、おおきなもりのはずれに、きこりのふうふがすんでいました。あるときふたりは、きのしたじきになってないでいた、こおにをたすけてあげました。するとこおには、たすけてもらったおかえしに、ねがいごとをみつつ、かなえてあげるといいました。ふたりはどんなねがいごとをしたのでしょうか。
イタチとみずがみさま	内田 麟太郎／作 山本 孝／絵	岩崎書店	エホン/ヤ	イタチはあぜみちに咲いているアザミをとでも気に入っていました。アザミを見るために日に何度も同じ道を通るほどでした。ところが雨が降らず、アザミはどんどん元気がなくなっていきます。村では田んぼの水がなくなり村人が雨乞いのお祈りをしていました。イタチはそれを木のかげからみていました。
きのうをみつきたい！	アリソン・ジェイ／作・絵 蜂飼 耳／訳	徳間書店	エホン/シ	たのしかったきのうにもどりたい！ そんなふうにかんがえるおとこのこのおはなし。ひかりよりはやくちきゆうをまわれば、きのうにもどれるかもしれない。ともだちとひとばんじゆうたのしくあそんだ日やたのしかったたくさんの日々。そんな、たのしい日は、どれもいいおもいで。だけど、きょうはきょうで、あらたなぼうけんがはじまるんだ。
ティリーのねがい	フェイス・ジェイクス／作 小林 いづみ／訳	こぐま社	エホン/シ	人形の家でメイドをしているティリーは、まいにちたくさんのおまじないを言いつけられて、くたくたになるまではたらいっていました。あるばん「ここを出て、じぶんのうちをみつめよう」と、屋根うらのへやからとびだしました。くまの人形の爱德华にてつだってもらい、にわのおんしつにすてきな部屋をつくりました。
願いごとのえほん 幸せを呼ぶ世界のおまじない	ローズアン・ソング／文 エリサ・クレヴェン／絵 椎名 かおる／訳	あすなろ書房	147	あなたは叶えたい願いごとはありますか？この本は、世界中のおまじないをたくさん紹介しています。日本では七夕が有名ですが、アイルランドではタンポポの綿毛に願いをかけてふーっと息を吹きかけて綿毛を全部飛ばせたら、願いごとが叶うと言われています。これならだれでも挑戦しやすいですね。
しめかざり	森 須磨子／文・絵	福音館書店	386	お正月に飾るしめかざり。子孫繁栄、健康、長寿、豊作など、たくさんの願いがこめられている飾りです。地域によって形も違います。形によって意味も違うのですよ。ひとつひとつ大切な気持ちをこめて作られたしめかざりは、それぞれの場所でお正月を迎えると、あつめてどんど焼きという行事で燃やします。

しょめい	ちょしゃ	しゅっぱんしゃ	せいきゅうきごう	ないよう
エベレスト 命・祈り・挑戦	サングマ・フランシス／文 リスク・フェン／絵 千葉 茂樹／訳	徳間書店	454	エベレストは、チベットとネパールにまたがる、地球で一番高い山です。現地の言葉では「チョモランマ」や「サガルマータ」といいます。山へとつづく道のあちこちには、信仰や祈りの場所があります。山への敬意をあらわすために、登山者が必ずお参りをしなければならない「ゴンパ」という寺院もあります。
ピーターラビットのふるさとをまもりたい ビアトリクス・ポターものがたり	リンダ・エロビッツ・マーシャル／文 イラリア・アービナティ／絵 おびか ゆうこ／訳	廣済堂あかつき	726	有名なうさぎ、ピーターラビット。今年この本が出版されて120年になります。世界中の人々に読み継がれているすてきな物語を生み出したのはどんな人なのでしょう。作者のビアトリクス・ポターが絵本を出すまで、物語の風景がなくならないように自然と動物を守ろうとした記録がつづられています。
すずめのくつした	ジョージ・セルデン／ぶん 光吉 郁子／やく ピーター・リップマン／え	大日本図書	9-0/セル	アンガスは、おとうさんとおかあさんとふたりのおじさんといっしょに、ふるい、まずしいいえにすんでいました。おとうさんたちのこうばでは、あたたかいけいとのかくつしたをうりだそうとしていました。さきのまっかな、よこじまの、おしゃれなくつしたです。しかし、まちのひとたちは、このくつしたをかってくれませんでした。
ジェシーと七つのねがいごと	ミリアム・プレスラー／さく ギッテ・シュペー／え ひらの きょうこ／やく	リブリオ出版	9-0/フレ	ジェシーは、まどから外を見えています。ダックスフントを三びきつづけて見ると、幸運の日になると友だちから聞きいたからです。一びき、二びき、三びき！今日はどんないいことがあるのか、わくわくしてきました。ねがいごとは三つ？いえいえ、ジェシーは二つめにねがいごとが七つまでできるようにねがったのです。
こんぴら狗	今井 恭子／著 いぬんこ／画	くもん出版	9-0/イマ	江戸の郁香堂の弥生は瀕死の捨て犬を介抱し、ムツキと名前をつけ飼うことにしました。しかし今度は弥生が病になり寝込んでしまいます。ムツキは弥生の平癒祈願のため「金毘羅参り」と書いた札を首につけ、ムツキをかわいがっている瀬戸物問屋のご隠居と一緒に江戸から讃岐の金毘羅さんへ向かうことになりました。
5000キロ逃げてきたアーメット	オンジャリ Q. ラウフ／作 久保 陽子／訳	学研プラス	933/ラウ	ロンドンに暮らすアレクサのクラスにアーメットという男の子が転校してきました。アレクサと友達にアーメットと友達になりたいと思っていました。そんな時、アーメットがシリアからイギリスに逃げてきた「難民」で、家族と会えないことを知ったアレクサたちは、ある計画をたて実行しようとしていました。